北海道ぎょれん広報

なみまるくん

4
2025
No.438

「うみ・なかま コミュニケーション」

特集 令和7年度 ぎょれん事業計画(案) ～前編～

おさかなコラム

北海道を代表する食のプロフェッショナルに、本道沿岸で獲れる魚をテーマとしたコラムをご寄稿頂きます。

ちりめんじゃこに頼る春

春の到来に心が躍る季節ですが、実は私、転倒による右手首骨折中です（汗）。右手は利き腕なので、慣れない左手を使った生活を送っています。よく「食事はどうしているの？」と聞かれますが、外食やフードデリバリーサービス、出来合いの惣菜やお弁当など、現代は自炊をしなくても食事の選択肢はさまざま。

ところが私、毎食なんと左手を使って料理を作っています。骨折当初、市販のお弁当を食べてみたところ、すぐに大きな口内炎ができてしまいました。栄養素の欠乏症が即効現れてしまったのです。そこで左手でも調理可能なレシピを考案し、作って食べています。

包丁を持つことができないため、あらかじめカットされた魚や肉、野菜類などを活用し、調理器具も洗うことがままならないので、最小限で済むような料理を考えています。理論派の私にとって、左手レシピの考案作業がなかなか面白いのです。

…とは言っても料理やライターなども生業にしている私にとって、右手は一番の商売道具。骨の早期完治を目指すため、得意な栄養学の知識をフル動員して食材を選んでいます。

骨と言えばご存知、カルシウム。カルシウムだけ摂取量を増やしても骨を作ることはできません。カルシウムはもちろん、丈夫な骨づくりに必要なビタミンDやビタミンK、マグネシウムなどが含まれた食品をチョイスしています。

中でも私が毎日摂取しているのが、ちりめんじゃこ。ゆで卵入りサラダや冷やっこなどにかけて食べています。なぜならちりめんじゃこはカルシウム、ビタミンD、マグネシウムなどが豊富だからです。

しらす干しとちりめんじゃこの違いは、生のしらすを茹で、軽く乾燥させたものが、しらす干し。これをしっかり乾燥させたものが、ちりめんじゃこです。ちりめんじゃこは、しらす干しよりもカルシウムやビタミンD、マグネシウムの含有量が多いので、骨折している私にとってまさに〝骨の救世主〟と言えるでしょう。

ちなみに私が毎日のように食べている卵からビタミンK、豆腐など大豆製品からマグネシウムを補給しています。骨の柔軟性を保つためには、コラーゲンも大事な栄養素。コラーゲンはたんぱく質の一種なので、良質なたんぱく質が多い魚もしっかり摂取しています。

毎年、厚生労働省が行う「国民健康・栄養調査」では、日本人のカルシウム摂取量は常に推奨量を下回っている状態。実体験ですが、骨折をすると本当に生活の質は下がり、治るのにも時間がかかります。皆さんも毎日の食事を見直して、骨の健康を守りましょう！

上坂（うえさか）マチコ

お食事のカウンセリングサロンColan代表／管理栄養士／料理家／コラムニスト

テレビ出演、新聞・雑誌などでコラム連載や栄養監修、レシピ・スタイリングの提供などを行う。講演会や食事指導、料理講師、短大・専門学校の非常勤講師など活動は多岐。ぎょれんと共に昆布や鮭の情報を広く発信。

［うみ・なかま コミュニケーション］

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
April 2025 No.438

4
2025

01 マチコさんのおさかなコラム
「ちりめんじゃこに頼る春」

02 特集1
令和7年度 ぎょれん事業計画（案） ～前編～

08 なみまるインフォメーション

10 浜の家族物語
厚岸漁協／中嶋 哲太朗さん　ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願!
浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱

表紙の写真
厚岸漁協／中嶋（なかじま）　哲太朗（てつたろう）さんご家族です

令和2年に完成した衛生管理型荷捌き所と屋根付き岸壁。通年水揚げされるかきやあさりのほか、この時期はサケ・マスの流し網や毛がになどの春漁が始まり、港は活気に溢れます

特集 SPECIAL 令和7年度 ぎょれん事業計画 ー前編ー

ぎょれん　菊池副会長

令和7年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの「令和7年度事業計画(案)」をご紹介します。

今月は令和7年度事業計画のうち、漁政対策、指導・教育事業、漁業環境保全対策、販売事業（全体方針及び秋鮭）を、来月は「令和7年度事業計画 ー後編ー」として、販売事業のうち、ほたて・昆布・鮮魚に関する事業と、末端加工製品、食の安全・安心対策、宣伝販促・食育事業、購買事業、経営体制の計画をご紹介します。

中期的事業推進方向 最終年度に向けて

令和6年の本道漁業生産量は105万トンとなり7年連続で100万トンを超えたが、秋鮭は5万トンを下回り、昆布については統計開始以来最低の生産量にとどまるなど、基幹魚種の資源水準は低位な状況にあります。漁業生産額については、秋鮭の単価高があったものの、ほたて、いわし、昆布の金額減少が響き、2，798億円と昨年を118億円下回る結果となりました。

消費流通面においては、物価高騰による消費者マインドの落ち込みが懸念される一方で、コロナ禍収束に伴う外食需要の回復や過去最高の訪日外国人数を記録したインバウンド需要が消費を後押しし、国内販売は堅調な推移を見せました。

海外輸出については、長期化する中国の禁輸措置の影響が拭えず、代替販路の開拓は徐々に進んでいるものの、ＡＬＰＳ処理水放出前の水準に回復するには今しばらく時間を要する状況となっています。

このような状況下において、本会は日々変化するマーケットに対応した販促活動を展開し、北海道ブランドを前面に打ち出した高品質で安全安心な水産物のイメージ浸透に努めるとともに、国の補助金も活用しながら、より一層の国内販売の強化と東南アジアをはじめとする中国以外の輸出ルートの構築を進め、一定の成果を収めてきました。

令和7年度においても、国内消費の回復と海外販路の安定化に向けて総力を挙げて取り組むとともに、依然続く中国の禁輸措置に伴う消流停滞などに対して、各種協議会とも連携を図りながら道産水産物の安定的な消流に向けた取組を推進します。

漁政活動については、ＡＬＰＳ処理水の海洋放出による影響の軽減に向けて、国や関係先への働きかけを継続して実施するとともに、水産資源の回復と増大に向け、本道漁業の実態に即した管理手法の導入と資源減少要因の早期究明に向けた調査・研究体制の拡充、さらには漁業・漁協経営の安定、漁場環境の保全等、多岐にわたる課題解決に向けた各種要請を継続します。

環境面においては、漁業環境及び資源を未来に繋げるべく、各種施策の実施やサステナブル社会の実現に向けた取組などＳＤＧｓが掲げる目標達成に向け本会ＣＳＲ活動の充実を図ります。

未然防止対策を含めた河川・海洋環境保全対策の推進に加え、エコ包装資材をはじめとする環境配慮商品の拡充、ブルークレジットを活用したカーボンオフセットの取組、全道なみまるクリーンアップ作戦などの海浜清掃活動の継続実施や廃棄漁業資材のリサイクル等の海洋プラスチックごみ対策の取組を推進するとともに、これらの取組を対外的に発信することで環境意識向上への機運醸成を図ります。

本道を取り巻く環境は依然として厳しく、かつ急激な変化に見舞われていますが、「浜のために・浜とともに」という組織理念のもと、「持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」を基本方針に掲げた中期的事業推進方向の最終年として、漁協系統の組織力を結集し、指導・経済事業連合会としての機能強化を図るとともに、総力を挙げて各種対策に取り組みます。

令和7年度事業計画（案）

指導事業について

1. 漁政対策

海洋環境の変化に伴う水産資源の変動や漁業者の減少等といった構造的問題に加えて、自然災害、海獣等有害生物、赤潮等による漁業被害のほか、福島第一原発ＡＬＰＳ処理水の海洋放出に伴う中国の日本産水産物の輸入停止措置による道産水産物への影響等、本道漁業における課題は山積しています。

また、国の進める「新たな資源管理」や漁業収入安定対策の見直しによる漁業現場への影響も懸念されています。

本年度の漁政対策の推進にあたっては、本道漁業を取り巻くこれら課題が解決され、持続的な漁業が実現するよう、引き続き取り組んでいくこととします。

（1）福島第一原発ＡＬＰＳ処理水の海洋放出による影響の軽減に向けた取組

①国による各種対策事業の活用推進
②漁業被害に係る東京電力への損害賠償の枠組みの活用

（2）漁業・漁協経営の安定化に向けた取組の強化

①担い手・後継者対策の取組強化と外国人材活用に向けた取組
②漁業者の設備投資（漁船・漁具・機器等）に係る支援策の強化に向けた取組
③漁業収入安定対策の見直しに伴う代替支援策の検討推進
④漁業経営セーフティーネット構築事業等、漁業経営コスト削減に向けた取組
⑤国の施策推進に伴う水揚げ減少により減収となった漁業・漁協経営に対する支援実現に向けた取組
⑥漁協の収支改善と設備更新・保全等の支援に係る予算確保に向けた取組

（3）本道漁業の実態に即した水産資源の回復・増大に向けた取組の推進

①栽培漁業・増養殖事業に係る実効性ある

施策実現と予算確保に向けた取組
②資源減少要因の究明に向けた調査研究体制の拡充強化に向けた取組
③国が推進する「新たな資源管理」における本道漁業の実態に即した資源管理措置の実現に向けた取組
④漁獲が減少している資源の回復に向けた必要な対策の実現に向けた取組
⑤資源の維持・回復を阻害する密漁防止と遊漁対策の拡充強化に向けた取組

（4）漁村振興及び漁場環境保全に係る取組実施

①赤潮被害に係る水産資源回復対策の継続と新たな漁業経営対策の実現に向けた取組
②有害生物による漁業被害の防止と漁業経営への影響軽減に向けた取組
③水産多面的機能発揮対策等の継続的な予算確保に向けた取組

（5）災害被害対策の拡充強化に向けた取組

①流木等の自然災害被害からの早期復旧体制の構築に向けた取組
②海岸漂着物処理推進法等の災害復旧に活用可能な各種支援事業の拡充強化

（6）水産物貿易自由化に対する対応

①貿易自由化交渉の進展に対する本道漁業への影響回避に向けた取組

2. 指導・教育事業

武村農林水産副大臣（当時）への要請

漁協系統を取り巻く環境が劇的に変化する中、健全な組合経営体制を構築するにあたりコンプライアンス、ガバナンスといった管理体制強化への取組が強く求められています。

これらに対応するため漁協役職員の人材育成、関連法や諸規程類の改正等に関する情報提供とともに、職員の人材確保に関する情報提供等支援を継続します。

また、個人優先への社会的風潮が強まる社会にあって、相互扶助の精神に基づく協同組合組織の重要性を広める取組を継続します。

（1）漁協の経営適正化に向けた取組の強化

①経営安定化を進めるため、水協法等関連法規や税制等に関する研修会及び情報提供の継続実施
②全国監査機構による新一般監査を通じ、漁協に対する経営実務指導の継続実施
③北海道漁協経営強化推進本部の運営を通じ、関係機関との連携を強め、不祥事未然防止および経営不振漁協への指導・支援の継続実施

（2）漁協役職員の人材育成、確保に向けた支援

①組合実務に直結する研修を実施するとともに、動画やWebを活用した研修ツール作成の実施
②新規人材確保に向け全国漁協組合学校に対する業務支援と、本会奨学金制度の円滑な運用、新採用に関する情報提供の継続実施

（3）協同組合意識醸成に向けた側面支援

①組合員が集まる場で活用できる研修ツールの作成、整備
②青年部、女性部等の全道会議の場を活用し組合員組織での研修会開催を要望することに合わせ、本会職員が出講対応し役職員研修や諸会議での協同組合論教育の実施

道漁青連「漁師さんの出前授業」

3. 漁業環境保全対策

現在、半導体工場の新規建設や、ニジマス陸上養殖施設の建設、海外資本による鉱山再開発など、河川環境やふ化放流事業を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。

また、海洋環境では、トド等有害生物対策や、海洋プラスチックごみ問題、流木対策と森林環境保全等の課題に加え、洋上風力発電開発への対応も求められており、これまで以上に環境に対する関心が高まっています。このような状況を踏まえて、次の諸対策を推進します。

（1）河川環境保全対策

①半導体工場排水対策
ラピダス関連協定協議、連絡会議参画、水質モニタリング状況確認
②インフラ工事対策
北海道新幹線延伸工事、高規格道路、橋梁大規模修繕等への対応
③農業系排水対策
家畜排せつ物流出防止、管理状況点検、行政による農家指導強化
④油流出事故対策
タンカー事故対応、網走観光ホテル協定協議、防除指導者養成講習開催
⑤鉱山再開発対策
試掘候補地除外に向けた漁協支援、鉱廃水の危険性評価

（2）海洋環境保全対策

①洋上風力発電事業対策
各地区法定協議会参画、行政・事業者との協議実施
②海洋プラスチック問題への対応
なみまるクリーンアップ実施、魚体への影響に関する知見・情報収集

（3）有害生物対策

①トド・ザラボヤ・アザラシ類による漁業被害軽減対策の推進
トド追い払い事業、ハンター育成事業、ザラボヤ洋上駆除・陸上処理対策強化と、アザラシ被害防止対策の検討委員会への参画
②大型クラゲ・キタミズクラゲ被害軽減対策
大型クラゲ対策基金発動要件の整理、クラゲポンプ導入支援

（4）その他

①流木対策
予算拡充要請、流木補足工の拡大、海岸漂着流木処理・押上げ
②森林環境保全対策
お魚殖やす植樹運動の支援、渓畔林の保全

「全道なみまるクリーンアップ作戦」
令和6年度は宗谷地区、渡島地区、日高地区、桧山地区、根室地区で実施しました

販売事業について

昨年の全道水揚げは、昆布やいかといった基幹魚種の水揚げについては依然として低水準が続いているものの、さんまやにしんの水揚げが伸長したことにより、7年連続で100万トンを超える結果となりました。一方、金額については、秋鮭が増加したものの、ほたてやいわしが減少し、前年を下回る結果となりました。

水産物の流通は、物価高騰による消費者マインドの冷え込みが懸念されますが、社会経済活動の正常化による外食・インバウンド需要の回復により堅調に推移しています。

また、輸出動向は依然として不透明ですが、東南アジアをはじめとした新たな販路開拓による成果も見え始めています。

このような環境変化に対応した各種流通・宣伝・販促事業を展開していくとともに高品質・安全安心を訴求し、北海道水産品のさらなる販路拡大に繋げます。

JF北海道女性連が中心となって活動する「お魚殖やす植樹運動」

(1) 市場

安定流通・魚価維持のための産地市場対策の拡充

①突発的かつ集中水揚げ時に対応しうる広域的な凍結・加工・流通体制の拡充

②水揚げ増加傾向魚種の販売強化

(2) 加工

漁協・協力会社・関連会社との組織的連携による加工機能強化

①製造環境、消費環境及び水揚げ環境の変化へ対応した付加価値商品の開発強化

②安全・安心対策強化に向けた品質・衛生管理スキルのさらなる向上

③変化する消費者ニーズに対応した加工体制の拡充

(3) 流通

①国内販売対策

ア．各販売業態に対応した販売戦略及び商品開発の推進

イ．重要取引先との取組強化による安定流通及び新規販路の拡充

ウ．消費動向・社会情勢に対応した柔軟な宣伝・販促活動の強化

エ．MSC、MEL等を活用したブランド力強化

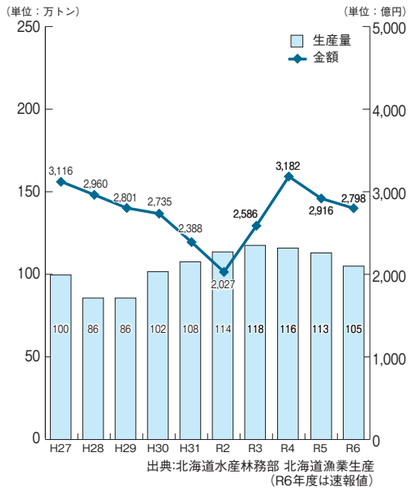
②輸出対策

ア．中国禁輸に伴う輸出販路の再構築

イ．原料輸出による市場確保の取組継続

ウ．海外ニーズに対応した製品輸出の販路確立

本道漁業生産量・金額の推移



出典:北海道水産林務部 北海道漁業生産(R6年度は速報値)

1. 秋鮭

道内の水揚げは、前年を大きく下回る約4万4千トンの水揚げにとどまりました。流通においては、親製品については、加工原料のコストも上昇していることから、今後、必要に応じて販促企画を実施する等、消費拡大に向けて、取組強化が必要な状況となっています。魚卵製品についても、水揚げの減少と歩留の低下により生産量は少ないものの、製品単価は史上最高値となっており、来季の水揚げまで予断を許さない状況となっています。また、近年課題となっている秋鮭の背面処理(加工能力・運送等)機能の低下については、今後も集中的な水揚げに備え、広域的な原魚処理体制の継続が必要不可欠となっています。

このことから、引き続き、秋鮭流通対策協議会と連携した国内外における各種対策を計画的に実施し、秋鮭の安定的な消流に向けた取組を推進していきます。

(1) 生鮮対策

①旬期の消費拡大に向けた生フィレ・生筋子の販売強化

②円滑な原魚供給に向けた関連会社、加工業者、配送業者との取組強化

(2) 国内対策

〈親製品〉

①秋鮭対策の柱となる冷凍ドレスの安定流通に向けた販売強化

②国内販路拡大に向けた、定塩フィレスペックの差別化

③価格高騰に対応した付加価値製品の生産強化と販路拡充

〈魚卵製品〉

①既存販売先との取組強化と販路の死守

②需要が伸長しているインバウンドをターゲットとした販売の強化

(3) 輸出対策

①水揚げ回復を見据えた原料輸出ルート再構築(タイ、台湾、東南アジア他)

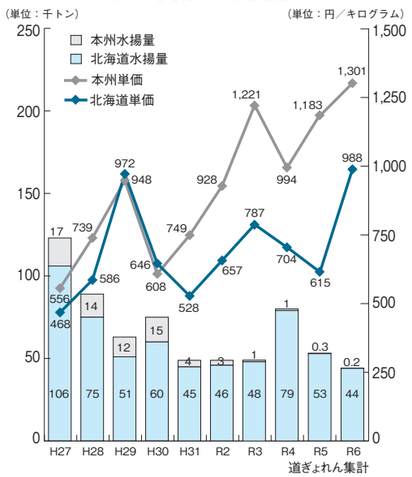
②製品輸出ルートの確立に向けた海外販促の拡充(台湾、東南アジア、香港、カナダ他)

(4) その他

①水産エコラベル(MEL)認証の国内外の普及促進と認知向上

②海外でのMEL流通加工認証(CoC認証)の取組推進

秋鮭水揚量・単価推移



道ぎょれん集計

令和6年度 全道漁協漁場環境保全研修会･全道指導部門担当者会議

01 海洋環境の変化と水産政策に係る各種施策について研鑽を深めました

2月19日(水)、全道漁協漁場環境保全研修会（主催：北海道漁業環境保全対策本部、全国豊かな海づくり推進協会）並びに、全道漁協指導部門担当者会議（主催：ぎょれん漁政部）が札幌市のホテル札幌ガーデンパレスで開催されました。

本年度の漁場環境保全研修会は「海洋環境の変化について」をテーマに、国立研究開発法人 海洋研究開発機構 付加価値情報創成部門 アプリケーションラボの美山主任研究員より、「日本の海の異変：海洋熱波とその影響」、国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 さけます部門 資源生態部の佐藤部長より、「サケ資源の現状と海洋環境変動の影響について」と題した講演がそれぞれ行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

漁場環境保全研修会で講師を担当した美山主任研究員(左)と佐藤部長(右)

指導部門担当者会議には全道各地の漁協や系統団体から120名を超える出席者が集まりました

また、午後から開催された指導部門担当者会議では、水産庁や全国海水養魚協会、㈱水土舎、水産業・漁村活性化推進機構の各担当者から養殖業の成長産業化について解説されたほか、漁業経営安定化推進協会からは、漁業経営セーフティーネット構築事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業などの取り進めについて説明が行われ、指導部門の重要性を認識するとともに、各事業の円滑な手続きに向けて最新の情報を共有する1日となりました。

ファーマーズ&キッズフェスタ2025にブース出展

02 都会の子どもたちに様々なコンテンツで北海道のほたてをPRしました

北海道ほたて漁業振興協会（事務局：ぎょれん販売企画部）は、3月1日(土)・2日(日)の2日間、東京の代々木公園で開催された「ファーマーズ＆キッズフェスタ2025」において、北海道産ほたてのブースを出展したほか、ホタテリオをはじめとするぎょれんお魚キャラクターとハローキティとのコラボステージなども行い、訪れた多くの来場者へ道産ほたてのＰＲと食育活動を実施しました。

同イベントは、「農業と子どもの元気が日本を元気にする」をテーマに（公財）日本農業法人協会主催で行われたもので、今年は2日間で4万8000人を超える来場者が訪れるなか、焼きほたてを提供する「販売ブース」と水槽やタッチプールで生きたほたてを見たり触ったりできる「食育ブース」を展開し、大人から子どもまで幅広い層に対して、道産ほたての美味しさや認知度向上を図ることができました。

ほたてのタッチプールは、普段生きたほたてに触れることが少ない都会の子どもたちにとって、貴重な機会となったようでした

ステージショーは、入場者を対象にほたてエコグッズやハローキティとホタテリオのコラボグッズなどが当たる抽選会も行われ大盛況でした

第62回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール短編の部

03 ぎょれんの道産ほたて･秋鮭･昆布の動画が最高賞のグランプリを受賞しました

今年1月、（公社）日本アドバタイザーズ協会（ＪＡＡ）が主催する「第62回ＪＡＡ広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」の入賞作品が発表され、ぎょれんがTastemade Japan㈱と共同で制作した「秋鮭といくらで世界一美しいプリンセスドレスを作ってみた」、「北海道のほたてを使ってモンスターを爆誕させてみた」、「北海道の昆布を10時間かけて編み込んでみたら…？」の道産秋鮭・ほたて・昆布のＰＲ動画が、「フィルム広告（短編）部門」で最高賞のグランプリを受賞しました。

同広告賞は、審査員に広告の関係者を含まず、消費者が生活者の視点から審査を行う世界でも類を見ない特徴を持つ総合広告賞です。今回はプリント広告、オーディオ広告、ＯＯＨ広告、フィルム広告（短編の部、中編の部、長編の部）の6部門へ、全965点の応募作品の中から選考が行われた結果、ぎょれんの広告が見事フィルム広告（短編）において、ＪＡＡ賞グランプリの栄誉に輝きました。受賞動画は、地下鉄南北線さっぽろ駅の北改札・南改札前に設置されている大型サイネージで放送中ですので、ぜひご覧下さい。

2月27日(木)、東京の帝国ホテルで授賞式が行われ、ぎょれんの安田専務が記念のトロフィーを受け取りました

受賞作品のショート動画はぎょれんの公式YouTubeチャンネルでも公開しています。こちらのQRコードよりご覧下さい

道漁青連役員が国内視察研修を実施

04 大阪･和歌山で道産水産物の消流状況や最新の養殖研究を学びました

2月18日(火)～21日(金)、北海道漁協青年部連絡協議会（道漁青連）の役員が和歌山、大阪で3泊4日間の視察研修を実施しました。国内外における道産水産物の加工・消費流通状況を学ぶことを目的に2～3年ごとに行っているもので、本年度は役員6名に事務局1名の計7名が参加しました。

初日は和歌山県西牟婁郡白浜町にある「とれとれ市場南紀白浜」を視察。地元・堅田漁協の子会社が運営する、単協経営としては全国随一の規模を誇る観光市場を見学すると、翌日はくろまぐろの完全養殖で有名な近畿大学・水産研究所大島分室を視察し、巨大な養殖生け簀で飼育されるくろまぐろの生態や養殖技術を学びました。そして、その日の午後からは大阪に移動し、最終日にかけてぎょれんの大阪支店、大阪府漁連、鰯巾着網漁協を訪問し、西日本の漁獲状況や道産水産物の動向、大阪湾内での漁業や漁法、関西での漁協・漁船の施設などについて研さんを深めると共に、活発な意見交換を行いました。参加者たちは、今回の視察を通じて本道水産物の魅力やその価値を改めて実感しただけでなく、本道とは全く異なる環境での漁労環境に触れたことで、様々な刺激を受けたようでした。

紀伊大島(和歌山県東牟婁郡串本町)に設置された近畿大学のくろまぐろ養殖生け簀

大阪府漁青連の役員とも意見交換を行いました

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

厚岸漁協

中嶋（なかじま）さんご家族

【中嶋さんご一家】中嶋　哲太朗（てつたろう）さん（35歳）、まなみさん（35歳）、樂（がく）くん（2歳）

※写真は哲太朗さんの父 均（ひとし）さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、厚岸漁協の中嶋さんご一家です。

美味しいと言ってくれる方に全力で応える

年間を通じて、かき・あさり漁に従事する哲太朗さん。幼い頃から家の手伝いで、昆布干しや根っこ切りを行っていましたが、父の均さんから「漁師を継いで欲しい」と言われたことはなく、当時は漁業にそこまで興味はありませんでした。ですが、父親の背中を見ているうちに「いつかは漁師に」と思うようになり、地元の水産高校へ進学。卒業後は、社会勉強のために会社員として働きましたが、8年前に退職し、漁師の道へ進みました。

ただ、漁師と言っても、均さんが代表を務めるカキキン㈲では、飲食店や一般の消費者に向けた直送販売や、「オイスターバー牡蠣場」という飲食店の経営も行っており、哲太朗さんは純粋な生産者としてだけでなく、販売・営業や、時には目の前のお客様へ商品を提供する店員としての立場もあります。そのため「ライバルとなる産地が増えているなか、毎年お客様の期待に応えられる貝を育てられるか、日々の作業一つ一つがプレッシャーです。でも、直接消費者の方から『いつ食べても美味しい』と言っていただくと、本当に嬉しいです」と話します。

かきの生産量の増加と、新たな品種誕生を目指して

妻のまなみさんは、厚岸ご出身の同級生。校区は別々でしたが、高校時代に友人を介して知り合いました。卒業後も順調に交際を続けて、ちょうどお付き合いされて10年目の記念日に入籍。2年前に長男の樂くんが誕生し、まなみさんは子育てが忙しいなかでも、かきの洗浄や選別、発送なども担当しています。そして、樂くんはというと、踊りとボール遊びが大好き。保育園にお迎えに行くと、いつもボールを持って遊んでいるそう。そんな樂くんの将来について、お二人は「好きな道に進んで欲しい」と言います。また、「選択肢の一つとして、家業があるということはとても心強い事。いつでも戻って来られる場所を守りたいという思いはあります」と哲太朗さん。

最後に将来の目標について、哲太朗さんは「やはり、厚岸はかきの町。生産量を増やして、もっと沢山の方に食べていただきたいですし、もっと美味しいかきを作りたいです。厚岸を代表する新しい品種のかきや、新たな養殖魚種などを作り出すことができれば、若手も将来に対してより安心できると思うので、青年部の仲間と協力して取り組んでいきたいです」と教えてくれました。

頭すっきり!! ブレイクタイム Break Time

シークワードクイズ

4月のテーマ「コンビニ」

シ	ガ	ワ	セ	ク	ケ	カ
ウ	ツ	ン	プ	ツ	リ	ク
ト	コ	ザ	ロ	シ	ケ	パ
ウ	キ	コ	バ	タ	ラ	ン
フ	ガ	ト	ー	ノ	イ	セ
カ	ミ	ザ	ラ	ヒ	タ	ン
サ	ハ	タ	オ	ル	ー	ビ

どれにも使用しなかった文字をうまく並べてください。

解答 □□ となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

3月号の解答と当選者

カ	ク	メ	ア	ウ	コ	リ
ラ	マ	モ	モ	カ	ブ	バ
コ	ゲ	カ	ガ	ツ	ハ	ヒ
ガ	ラ	オ	イ	コ	ク	ラ
ラ	ゲ	カ	ア	ウ	チ	ウ
ウ	ボ	ン	ゲ	ウ	ヨ	チ
ツ	バ	メ	ジ	ロ	ウ	ソ

カワウ

（小樽市）小　樽　S　Sさん
（登別市）い　か　マ　マさん
（厚岸町）藤　田　美　子さん
（浜中町）榊　田　洋　子さん
（浜中町）あやとのバァバさん

4月は「コンビニ」がテーマです。今やコンビニチェーンもそれぞれのブランド商品がより取り見取り。コンビニスイーツ、あなどるなかれ。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- □ カミザラ（紙皿）
- □ クツシタ（靴下）
- □ クリップ（クリップ）
- □ コーヒー（コーヒー）
- □ コロッケ（コロッケ）
- □ ザツシ（雑誌）
- □ セッケン（石鹸）
- □ センコウ（線香）
- □ タオル（タオル）
- □ タバコ（タバコ）
- □ ノート（ノート）
- □ ハミガキコ（歯磨き粉）
- □ パン（パン）
- □ ビール（ビール）
- □ ビンセン（便箋）
- □ フウトウ（封筒）
- □ ライター（ライター）
- □ ワガシ（和菓子）

〈ヒント〉他にも何かが急に必要になった時に、コンビニは助かりますね。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえると答え（魚の名前）になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト
- □ アキアジ
- □ コマイ
- □ ブリ
- □ サンマ
- □ コンブ
- □ アサリ

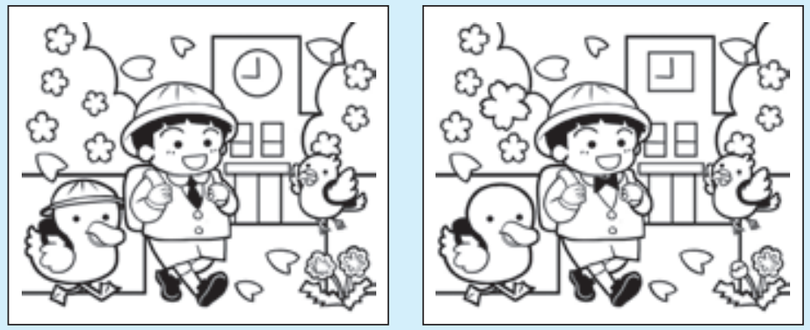
ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5ヵ所の異なるところがあります。さあ、見つけてください。（印刷のズレや汚れは関係ありません。）



※答えは13ページにあります。

news 浜のほっとニュース

大漁祈願！

小樽

1月から解禁となったにしん漁は、漁期も終盤に差しかかっています。時化による休漁も多く、昨年対比約40％となっていますが、今後水揚げ数量が増えることを期待しています。4月からはほたて稚貝の出荷、えび籠漁が始まり春漁シーズンが到来します。安全操業のもと、順調な水揚げができることを祈念しています。

桧山

さくらますの姿が見え始めました。3月から5月にかけて主に小型定置網や一本釣りで水揚げされるさくらますは、雪解け水で身が引き締まり、ほどよい脂のりが特徴です。今年は漁の出足がやや鈍いものの、今後の好転を期待しています。依然として寒さの厳しい日も多いですが、安全操業を第一に、暖かな春漁を迎えられることを願っています。

函館

春の訪れとともに、函館市場にはわかめやふのり、まつもなどの海藻類が上場され、浜は活気に満ちています。一方、噴火湾ではほたての水揚げがいよいよ本格化し、加工業者も忙しい日々を送っており、今シーズンのさらなる水揚げに期待しています。気温の変化が大きい時期ですので、体調管理にご留意いただきながら、安全操業と大漁を心より願っています。

室蘭

養殖ほたても終盤を迎え、水揚げも残りわずかとなっています。一時k@700円台までしていた浜値も、３月以降はやや落ち着きましたが依然として昨年より高値の傾向が続いています。一方、市場ではおおずわいがにの上場が目立ち、今後の浜値の動向が注視されます。春本番を迎え、生産者の皆様にとっては繁忙期が続きますが、安全操業と大漁を切に願っています。

日高

日産8トンから10トンほどのおおずわいがにが水揚げされ、２月末累計で昨年の約2倍の水揚数量となっています。認知度が高まってきたこともあり、大サイズはk@1,000円を超える単価で推移し、浜は活気づいています。一方、4月からは春定置網漁や刺網漁等が始まります。浜では春定置網漁に向けて土のうを準備している光景も見えます。本年も皆様が安全に操業されることと豊漁を祈願しています。

釧路

少しずつ冬の寒さが和らぎはじめた4月、春の陽気が感じられ、冬の主役であるたこや毛がにの水揚げが終盤に差し掛かっています。今季は時化が多く、思うように出漁できない日が続きましたが、たこは昨年度を大きく上回る水揚げになっています。4月からは鮭鱒流し網漁に加え、月末からは春定置漁も始まります。2025年度の生産者皆様の豊漁と安全操業を祈念します。

根室

にしんの好漁が続き、浜値も昨年より高値であることから浜は活気付いています。黒がれいは昨年並みの水揚げですが、これからの盛漁期に向けて皆、豊漁を期待しています。3月13日には、日ロさけ・ます漁業交渉が妥結し、4月からの操業に関係者一同、安堵しています。引続き、春漁が好天と大漁に恵まれますことを祈願しています。

北見

オホーツク海沿岸も徐々に春めいて雪解けが進み、本格的な海明けを迎えようとするなか、底曳網漁、ほたての漁場造成、毛がに漁などが始まり、浜は賑わいを見せています。今後は刺網漁によるにしん、かれい類等の水揚げが本格化し、浜は益々賑わうと同時に忙しさも増していきますが、各浜にあっては今後とも安全操業と大漁を心より祈願いたします。

稚内

厳しい寒さがやわらぎ、春の訪れを感じられる季節となりました。ほたて、毛がに、にしん、なまこ漁で浜は活気づいています。4月からはたこ、むらさきうになどの様々な漁が始まります。天候に恵まれ、安全操業で豊漁となることを祈念しています。

留萌

えび竜漁が解禁し、かれいやにしん刺網の水揚げが本格的にスタートしました。これから各地区でほたて稚貝出荷も始まり、浜は大きく賑わいます。気温が徐々に上がり、雪解けも一気に進み、春の訪れを感じています。盛漁期に向けて皆様が安全操業で、大漁となることを心より祈念しています。

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまるおたより箱

from readers

シークワードが楽しすぎて、またやったよ。おねちゃんと鳥の名前を調べてさがしたら、なんだか頭がよくなりそうだな。
（えりも町　たむひよさん　9歳）

娘の職場を見に行った時、通り道に"ぎょれん"があった事にびっくりしました。いつも楽しみにしている"なみまるくん"がここでつくられてるんだぁーと!!
（浜中町　あやとのバァバさん　58歳）

今年は厳しい冬をぬくぬくと乗り越えた代償として10キロ太り上がりました。体が重くて動きません。
（北見市　春はあげものさん）

お米問題が騒がれていますね。市場で高値取引されるなら農家さんに少しでも還元されて欲しいな…と思います。でも庶民の手の届く値段で買いたいし…難しい問題！漁業者にとっても対岸の火事じゃない問題ですよね。政治家さんたちには卸値を高く、お店に出る時は庶民価格になるようにうまく調整してほしい！第一次産業従事者大切にして～！欲しいです(^^;)
（登別市　いかママさん　43歳）

にしん残念です。はじめは沢山入荷してたのに今ではなかなか安くなりません。これで終わりかな、春にしん。カレーパン、ギネス世界記録おめでとうございます。コープ札幌の店頭で販売されるのですね。いつ頃販売なのかな、心待ちにしています。小樽の販売は無理かな。
（小樽市　小樽SSさん）

編集後記

おたより箱にもありましたが、お米だけでなく、毎月様々なものが値上がりしていますね。郵便料金もそうですね。そんな中、読者の皆様、いつもおたよりありがとうございます。皆様からのおたより（メール、ＦＡＸ含む）が我々の制作意欲を刺激しています。４月からの新年度も引き続きよろしくお願いいたします。
（藤江）

おしゃんず！

第11回　めぐりめぐって本当の話!?

©スキャロップパールとは、まれにホタテ貝から採れる真珠のこと。

編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

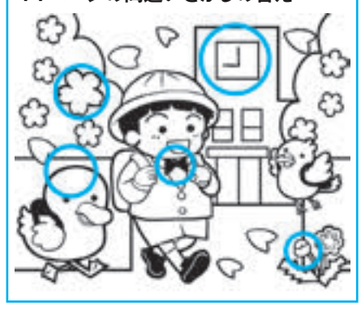
次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
②11ページのシークワードの答え
③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉
4月22日までにお送りください。
（郵便）
〒060-1003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
（FAX）011-242-3543
（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



新人と　気を引き締めて　いざ出漁！
公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

なみまるくん
4
2025
Hokkaido Gyoren Magazine
No.438

Fishery Mom's Recipes

浜のお母さんレシピ

とろろ昆布とかぼちゃの春巻き

今回は「とろろ昆布とかぼちゃの春巻き」をご紹介します。
パリっと揚げた春巻きの皮にとろっとしたチーズの旨味と
ほくほくかぼちゃの食感、とろろ昆布の風味がたまりません。

材料　4人分

- かぼちゃ …… 80g
- プロセスチーズ …… 80g
- 春巻きの皮（小）　…… 8枚
- 日高とろろ昆布 …… 適量
- 揚げ油…… 適量

作り方

❶かぼちゃをくし切りにし、さらに0.5cmくらいの短冊切りにする。

❷プロセスチーズを約0.5cm幅に切る。

❸春巻きの皮1枚につき、かぼちゃ（約10g）を並べ、次にとろろ昆布（適量）をのせ、さらにチーズ（10g）をのせて巻く。

❹油を熱し、約3分ほど揚げたら出来上がり。

えりも漁協
長内　里加さん

発行／北海道漁業協同組合連合会　〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目1番地　企画・編集／総務企画部　広報担当　TEL.011-281-8665　URL http://www.gyoren.or.jp　印刷／佐藤印刷株式会社

北海道ぎょれん
北の魚情報がぎっしり!北海道ぎょれんウェブサイト
www.gyoren.or.jp

道産間伐材使用
間伐で未来につなぐ北の森
本書の本文用紙は原料の一部に道産間伐材を使用しております。